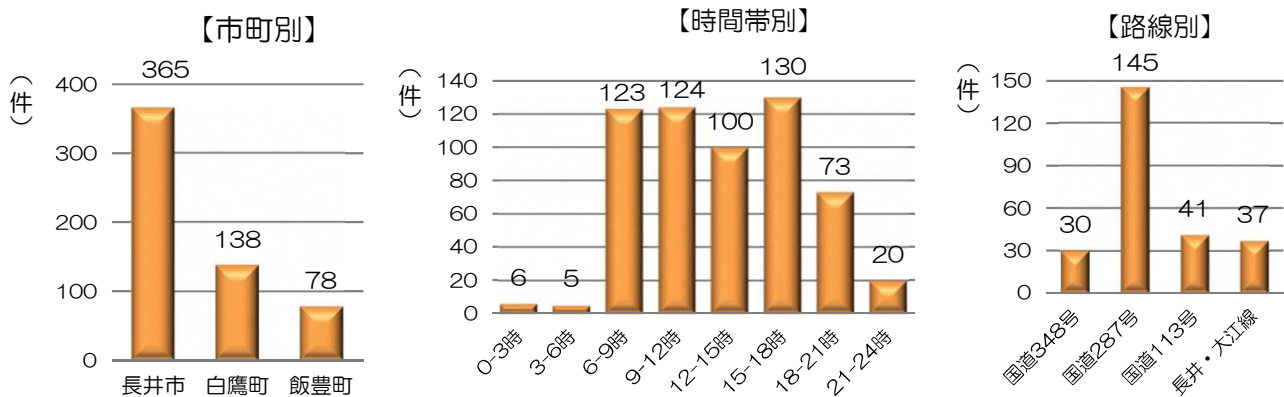


速度取締り指針

速度取締り指針とは

速度等取締り指針とは、危険な運転を抑止し、悲惨な交通事故を防止するという速度取締りの意義・必要性について県民の皆様から御理解をいただくため、警察署単位での交通実態の分析結果と、それに基づいて重点的に速度取締りを行う路線、時間帯等を明らかにするものです。

管内の人身交通事故発生状況（平成29年～令和3年、合計581件）



【交通事故の特徴】

- 市町別では、長井市での発生が最も多く365件（62.8%）、次いで白鷹町が138件（23.8%）、飯豊町が78件（13.4%）となっている。
- 時間帯別では、午前6時から午後6時までの間に477件（82.1%）が発生している。
- 路線別では、国道287号で145件（25.0%）が発生している。

速度取締り重点路線

重点路線	重点時間帯	区域	最高速度
国道287号	6:00~12:00 15:00~18:00	長井市今泉～白鷹町大字荒砥甲、乙	50km/h、60km/h
国道113号		長井市今泉～飯豊町大字手ノ子	50km/h、60km/h
国道348号		白鷹町大字荒砥甲、乙～白鷹町大字滝野	50km/h
主要地方道長井大江線		長井市成田～白鷹町大字鮎貝	40km/h、50km/h

【重点路線設定理由】

- 国道287号は、県都山形市に通じる国道348号に接続し、管内市街地を通過して米沢市まで抜ける主要な幹線道路であり、交通量が多く、交通事故の発生も多い。
- 国道113号は、新潟県と宮城県を結ぶ大動脈であり、道路幅員が広く信号機が少ない郊外道路であるため、緊張感の欠如による正面衝突等重大交通事故の発生が懸念される。
- 国道348号は、山形市に通じる幹線道路であり、その大部分が信号機のない山岳部であることから速度が出やすく、令和元年には死亡事故も発生している。
- 主要地方道長井大江線は、国道287号と平行する生活道路であり、道路幅員が狭い場所が多い上、小学生の通学路として利用されている。